

2026年12月期 第2四半期 決算説明会 質疑応答要約

2026年8月14日に開催した2026年12月期 第2四半期 決算説明会の質疑応答要約について、下記のとおりお知らせいたします。

記

Q：営業利益はQ1をボトムにQ2で大きく改善し、底打ちを確認したとの説明がありました。下期に向けてこの改善トレンドが継続し、さらに加速すると考えてよいでしょうか。その主な牽引役を教えてください。

A：1つ目の牽引役は、まずベース・基幹事業としてのセカンダリー領域が非常に強くございます。四半期ごとの売上・利益をご確認いただければ、ご納得感高く見ていただけると思っております。

加えて重点成長領域の4領域がそれぞれ少しずつ成長を続け、利益貢献をしていくことで達成していく計画になります。その中で一番売上が勢いよく伸びており、昨年度に比べて規模感が一番大きく立ち上がってきている領域が『J. League Fantasy Card』です。4領域の中で最も大きい売上規模があることから、重点成長領域の牽引役としては『J. League Fantasy Card』に期待してまいりたいと思っております。内部KPIはしっかりしておりますので、ユーザー数を積み増していくことで実現できると考えております。

Q：人材マッチング領域で特定クライアントの撤退影響があったとのことですが、新規開拓で十分に補完できているのでしょうか。また、開発ソリューションとの連携による「一括受託の大型化」の進捗についても教えてください。

A：まず人材マッチング領域についてです。数多くの取引先様と取引させていただいております。ただ、コントラクトジョブですので、契約が切れると売上が減るという構図でございます。

そうした中で、クライアント様の撤退は予見が届かないタイミングであり、垂直立ち上げの時期でありつつも、急ハンドルを切らなければいけないような直前でのご連絡でした。そのため、1月に事前に他のソーシングを加速させて空きを埋めていくことを先回りして行うには、少し時間が足りなかったというのが実情です。

このように時間が足りなかっただけで、1月および2月前半にかけて時間を作り、しっかりと稼働率を高め直すという穴埋めはできております。さらに、事業全体として追加で人月を積んでおり、補完はできております。補完した結果として、キャッチアップする期間は発生しましたが、計画への影響は出ておりません。

次に、開発ソリューションとの連携による一括受託の大型化についてです。ご質問の趣旨を

「案件そのものの大型化が起きているか、あるいは我々の行動によって起こせているか」と理解してお答えいたします。

これから新しいタイトルを作られるお客様、今作っていらっしゃるお客様、これから売ろうとしているお客様、運営を始めたばかりのお客様、長く運営を続けてきて次のタイトルや事業にリソースをシフトしたいお客様など、フェーズによってニーズはかなり変わってきます。また、企業様やタイトルの規模によっても「常駐型で頑張してほしい」から「タイトルを丸ごと受け取ってほしい」まで、バリエーション豊かなご要望がございます。

我々の強みの1つとして、月にコンタクトさせていただいているゲーム企業様に対して、コンスタントにニーズをお伺いしていくということを丹念にできている点があります。大型案件をいただけるのは非常にありがたい話ですが、どちらかといえば「どういうニーズがあり、それにどう応えていくか」を重視しています。応える側が「大きくないと困る」「細かくないと困る」となってしまうと、マッチングのコンバージョンが下がってしまいますので、もちろんお受けできない場合もございますが、なるべく柔軟にニーズにお答えしていくことを重要視しております。人材マッチングからソリューションに繋がったもの、セカンダリーの営業から繋がったものなど、相互にシナジーが非常に効いております。人員のローテーションという意味でもシナジーが高いため、大型案件にアプローチできる非常に良い位置におり、実際に大型案件もございます。

あくまで目指しているのは、こういった市況の中で「どのように貢献してほしいか」「どこで困っているか」にいかに柔軟にお応えしていくかです。それにフィットできるよう、大小様々なアウトプット・ご納品のソリューションを用意して展開しております。急に大きなタイトルが来てチームアップして受ける、ということは何十回、何百回と繰り返してきておりますので、対応力や品質の担保力には一定の自負がございます。今後もしっかりご提供してまいりたいと思っております。

質疑応答要約は以上です。

なお、決算説明会動画も公開していますので、以下のURLよりご覧ください。

<https://youtu.be/pGbku160PCI>

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社マイネット IR担当

お問合せフォーム：<https://mynet.co.jp/ir/contact>

その他のIR情報：<https://mynet.co.jp/ir>